



日本人の「気配り」



国籍	ベトナム
職種	電子機器組立て
実習実施者	パイオニア株式会社
監理団体	さくら国際交流 協同組合

ホアン クイン アイン
HOANG QUYNH ANH

去年の3月に、私が日本へ来た頃には、桜の見頃時期でした。会社の中で、「埼玉県の中でどこはお花見を見に行くのがいいですか」と新しい日本人の友達に聞いて、色々な名所を紹介してくれました。その時にはここでその話が終わったのかと思いましたが、次の日に、その日本人の友達からはっきり各所とバス停が書いてあるパンフレットと地図をもらいましたので、すごくびっくりしました。もし私ならすぐ忘れるかもしれない。ベトナムには皆も熱心で手伝いますが直接聞かなければならない。この場合は多分、もう一度「バスも教えてくれない」などの質問を聞かなければならないと思います。その日本人の友達のおかげで私と友達はお花見に行く事が出来、たくさん写真を撮りました。

たまに思い出すと、「私は日本に来てから周りの人からたくさん気配りをもらったではないでしょうか」と自分に聞きました。初めてアパートに入居して今までこの事を覚えていません。部屋に入ると家庭道具は人数によって小さな物でも用意されました。私と友達はびっくりしました。会社は家具などを準備することを知っていますが細やかな物でも用意してくれた

のは本当に感動しました。日本人細いところまで気を配って不具合や失敗が起きないように気にしたり、相手が求めていることを予測して、前もって準備しておくことをすごく感じしました。日本ではどこでも「気配り」が表現されています。例えば、バス、電車などにも体の不自由方の乗り降りに配慮して設計されています。また、公共のトイレにも、子供の椅子があったり、お年寄りがボクンを押しやすい位置に大きなボタンが設置されています。さらに朝、ご飯を食てヨーグルトを開けると「楽しい一日でありますように！」などのメッセージが書かれ、ポジティブな気分で一日を始められる。また、ラーメンの器の底に「感謝」などのメッセージが書かれており、美味しくラーメンを食べてくれた顧客への感謝も忘れない。私は日本人の「気配り」に驚かされました。こんなに細やかだと思いません。。。

今、誰かに日本の印象について聞いたら、答えは、勿論日本人の「気配り」に間違いないと答えます。もし寒いなら、日光が当たれば、暖かくなります。寂しくて、心配している時は「気配り」がもらったら、心は暖かくなります。私も気配ができるように、積極的に行動したいと思います。